



とうごうじゅんびいいんかい 統合準備委員会たより

平成30年2月2日(金)に第4回統合準備委員会を行いました。新しい学校の特色ある教育を中心に議論を行ったほか、校歌や校章、通学路の安全対策、施設整備の取り組みについて確認しました。

新しい学校の教育の特色

統合後は1小学校1中学校になり、小・中の連携が強まります。また、1学年2クラス以上になり、お互いに刺激をうけながら高め合う状況が増え、クラス替えも可能になります。このような長所を生かして、特色ある教育を進めることができます。

1 わかりやすさを追求した授業スタイル

笹川地区の小・中学校では、数年前から、外国人にも日本人にもわかりやすい授業についての研究を進めています。授業で使われるさまざまな専門用語を理解させ、どんどん活用させて、基礎学力のアップと日本語の習得を狙っています。1小・1中になることで、小中の9年間を見通して、授業の改善を進めます。



2 がりよく学力をさらに伸ばす学習集団の編制

統合後も十分に配置される教職員や日本語指導員を生かして、算数などで引き続き少人数指導を行います。学年の人数が増えることで、さまざまなスタイルの少人数指導が可能になります。例えば発展コースでは、あえて定員を増やして、グループ同士の活発な議論を行ったり、多くの仲間と競い合ったりします。

3 よっかいちし四日市市の英語教育の先進モデルに

英語スピーチコンテストで入賞を重ねるなど笹川地区の子どもたちの英語力には定評があります。小学校5、6年生に英語を専門に担当する教員を配置したり、小中間で英語授業の連携や合同授業など、市内でも先進的な取り組みを進めて、さらに英語力を伸ばします。



4 さがわ笹川のまちへの愛着と誇りを育てる

1小・1中になると、地域行事への参加や、小・中学校間の交流を行いやすくなります。小・中あわせて9年間の共通体験を持つことになり、自分が住むまち「笹川」に愛着と誇りを持つ子どもたちが増えます。



通学路の安全対策と施設整備

統合後の安全で快適な教育環境の実現に向けて、取り組みを再度確認しました。3月末には来年度の予算が決まります。

◇第5回笹川東小学校・笹川西小学校統合準備委員会

【日時】平成30年3月23日(金) 19時～

【会場】四郷地区市民センター2階ホール

※傍聴できます

【お問い合わせ】四日市市教育委員会教育総務課

政策グループ 電話354-8237

ささがわ ちく しょう ちゅうがっこう と く
笹川地区の小・中学校の取り組み

おもて面の4つの特色ある教育は、これまで笹川東小学校と笹川西小学校、西笹川中学校で進めてきた教育の特長をもとにしています。これまでの3校の取り組みなどを詳しくご紹介します。

**英語教育は大きな強み
 ～英語スピーチコンテスト
 3年連続入賞～**

ポルトガル語、スペイン語を話せる子どもは、英語の習得が早く、発音もきれいです。これは一緒に学習する日本人にとって良い刺激になっています。西笹川中学校の生徒は、鈴鹿高専英語スピーチコンテストで3年続けて、部門別の最優秀や2位に選ばれるなど、得意の英語を生かして活躍の場を広げています。

四日市市では、西笹川中学校区を市内初の英語教育推進校に指定しました。

2019年2月には、四日市市で小学校英語教育の全国大会が開かれ、笹川東小学校は英語指導についての発表を行います。

**小・中学校時代を通して養われる
 多文化共生の感覚**

幼少の頃から、多くの文化に触れている笹川地区の子どもたち。次にご紹介するのは、平成29年度に行われた「パネルディスカッション」での西笹川中学校卒業生の言葉です。ごく自然に、多文化共生の感覚や自分のまちへの愛着がはぐくまれていることがわかります。

高校生になって気づいた。私には外国にルーツのある友だちがたくさんいて、今もつながっている。

サッカーのW杯の試合を、公園のパブリックビューイングで見た。国籍を超えて応援することは、私たちにとって身近にある光景だと思った。



**四日市市における先進的な
 小・中連携教育のモデル**

西笹川中学校区では6年前から、笹川東小・笹川西小の算数の授業に、西笹川中学校の数学の教員が入っています(中学校教員による乗り入れ授業)。小・中で合同研究した結果、小4の算数でつまずくと、中学校での学習に大きく影響することがわかり、現在は小4に重点的に入っています。四日市市の乗り入れ授業の先進事例になりました。1小・1中になることで、時間的にも人員的にも余裕が生まれ、さらに連携を進めることができます。

また、小・中で授業の研究を進めて、外国人児童や学習が苦手な日本人児童のために、さまざまな工夫を行っています。わかりやすい授業になり、基礎学力のアップにつながっています。

<西笹川中学校区で意識されている授業スタイルの一例(小・中学校共通)>

- 大切なキーワードや数式などは、カードにするなど視覚化して印象づける。
- 授業で出てくる学習用語は徹底的な定着を図り、活用する場面を作る。
- 教員からの指示は、明確で短い言葉に。言い換えはしない。



統合によって、1小・1中になり、小・中連携がさらに進みます。笹川東小学校・笹川西小学校の取り組みのよいところを、新しい小学校に引き継ぎ、西笹川中学校へとつなげます。